

Cente Technical Information

発行番号	001-0003	Rev	第1版	発行日	2009/04/22
題名	マルチキャストアドレス宛のpingを受信した場合の応答について				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">・Cente TCP/IPv4 Ver.1.20 - Ver.1.30・Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.2.00 - Ver.2.10・Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.10・Cente IPv6 Ver.1.20 - Ver.1.40・Cente IPv6 SNMPv2 Ver.2.00 - Ver.2.10・Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.10 ※IPマルチキャストを機能追加したバージョンが対象となります。				
関連資料	なし				

【詳細】

Centeミドルウェア搭載の機器(以下機器と呼びます)は、pingを受信すると応答を返します。応答の送信元IPアドレスは機器のIPアドレスになっている必要がありますが、pingの宛先が224.1.1.1などマルチキャストアドレス宛の場合、それに対する応答パケットの送信元IPアドレスがマルチキャストアドレスとなってしまいます。これによる機器の動作への影響はありませんが、ping応答を受信した側が不正なping応答であると判断する可能性があります。その場合、「機器がpingに反応しない」という症状となります。

【回避方法】

以下のいずれかの方法で回避してください。

- ・pingの宛先としてマルチキャストアドレスを使用しない。
- ・マルチキャスト宛のpingを受信した場合も、応答の送信元IPアドレスは機器のものとなるようソースコードを改変する。
(改変箇所については、別途お問い合わせください。)

以上